

 **SILENCER SOUND SYSTEM**  
**SHINOBI**

for 10hole Diatonic Harmonica

**フルセット SNB-20 /  
ユーザーズセット SNB-20CVS 取扱説明書****Full Set SNB-20 /  
Users' Set SNB-20CVS Instruction Manual**

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品を末永く安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになった取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。

Thank you very much for purchasing this product. Kindly read the contents of the Instruction Manual to ensure the safe and long-term use of your harmonica. Store the manual in a safe location to prevent loss after reading it.

## お客様へのお願い / CAUTION

リードは折れる場合がございます。折れたリードを飲み込まないようにご注意ください。演奏前に、取扱説明書に記載のリードに関する注意事項を必ずご確認ください。

Over time the reeds can become weakened and break through metal fatigue. Should any reeds break, please be careful to avoid inhaling and swallowing any fragments. Before playing, please be sure to read all the instructions, particularly concerning the reeds.

Au fil du temps, les lames peuvent s'affaiblir et engendrer une fatigue du métal. Si jamais les lames amorçaient une failure ou se brisaient, veuillez bien faire attention d'éviter d'inhaler ou d'avaler des fragments. Avant de jouer, assurez-vous de lire toutes les instructions, en particulier concernant les lames.

Laufe der Zeit können die Stimmzungen durch Materialermüdung zerbrechlich werden. Sollte eine Stimmzunge abbrechen, passen Sie bitte auf, dass sie keine der Fragmente einatmen oder verschlucken. Bitte lesen Sie vor der ersten Benutzung die Bedienungsanleitung.

Con el tiempo, las lengüetas se pueden debilitar y romper por causa de desgaste en el metal. En caso de que alguna lengüeta se rompiera, por favor tener precaución y evitar inhalar y poder tragar cualquier fragmento de la misma. Antes de tocar, asegúrese de leer las instrucciones, particularmente la parte concerniente a las lengüetas.

在使用時，黃片有損壞或斷裂的可能。如果黃片有損壞或斷裂時，一定注意不要吞咽下去。在演奏前，一定要認真閱讀確認操作手冊上所記載的關於黃片的使用注意事項。

## 目次

安全にお使いいただくために .....	3	2. 本製品の使い方 .....	9
1. はじめに .....	5	2-1 演奏方法 .....	9
1-1 本製品について .....	5	2-2 マイクを使用する .....	10
1-2 セット内容 .....	5	3. お手入れの方法 .....	11
1-3 主な仕様・各部の名称 .....	6	3-1 サイレンサー(消音器)の着脱 .....	11
1-4 音配列について .....	7	3-2 サイレンサー(消音器)のお手入れ .....	13
1-5 スズキ 10 ホールハーモニカ本体を 使用することができます .....	8	3-3 ハーモニカカバーの着脱 .....	15
		4. Q&A .....	17

## 忍 SHINOBIX web ガイド

QRコードから「忍 SHINOBIX webガイド」へアクセスしていただけます。  
分かりやすい動画で使い方をご紹介します。ぜひご覧ください。



# 安全にお使いいただくために

 **注意** 安全に末永くご使用いただくため以下の指示を必ずお守りください。

## 演奏の前に

手を洗い、口をきれいにすすぎましょう。また1音ずつゆっくり鳴らしてみ、音程がおかしくないか確認しましょう。通常より音程が大きく下がっている音があれば、リードが折れている可能性があります。その場合、使用しないでください。

## 異物を入れないでください

吹口やすき間に異物を入れないでください。故障・破損の原因になります。

## カバーを強く押さないでください

カバーを強く押ししたり、かんだりしないでください。変形・破損の原因になります。また、変形してできたすき間に唇や舌などが入ると思わぬケガをする恐れがあります。

## 強く吹かないでください

通常のハーモニカを吹く時以上に、強く吹かないでください。変形・破損の原因になります。

## ハーモニカを投げたり 落としたりしないでください

ハーモニカが破損するだけでなくケガの恐れがあり危険です。

## 熱くなる場所はさけてください

車の中やストーブのすぐ近く、日ざしの強いところに置かないでください。変形や破損、またヤケドの恐れがあります。

## 通常のお手入れについて

演奏後は穴を下に向けて軽く振り、たまった水を抜きましょう。やわらかい布でから拭きするか、ハーモニカ除菌クリーナー（HAC-01）や消毒用エタノールを含ませた布できれいにしましょう。本紙に記載の無い薬品や溶剤などを使ってのお手入れは、製品を傷める恐れがありますので絶対にしないでください。お手入れ後はケースにしまって保管してください。

## リードに関する注意事項

### リードは折れることがあります

---

ハーモニカは内部で「リード」と呼ばれる小さな金属の板が振動し、音が鳴る仕組みです。リードは使用頻度や吹く息の強さによって金属疲労で音が下がったり、亀裂が入ったり、また折れたりすることがあります。これはリードを使用した楽器全般に起こり得る現象です。

### リードが折れる前兆として

---

リードが折れる場合、前兆として音程が大きく下がります。その場合、ただちに演奏を中止してください。そのまま演奏を続けると、リード片が口に入ったり、吸い込んでしまう恐れがあります。

### 上を向いて演奏しないでください

---

ハーモニカは上を向いて演奏しないでください。万一リードが折れた場合に、リード片が口に入ったり、吸い込んでしまう恐れがあります。もし吸い込んでしまった場合は、お近くの医療機関にご相談ください。

### リードは消耗品のため 定期的なメンテナンスが必要です

---

弦楽器の弦が消耗によって切れることがあるように、リードも消耗によって音程が狂ったり、折れたりします。演奏の仕方や使用頻度によってリードの消耗状態は異なりますが、長く安全にお使いいただくため、定期的に弊社にメンテナンスをご依頼いただくことをお勧めいたします。

# 1.はじめに

## 1-1 本製品について

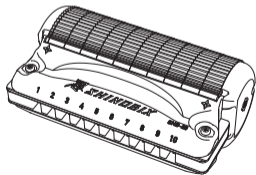
忍SHINOBIXはハーモニカとサイレンサー（消音器）の2つのパーツで構成され、簡単に着脱することができます。サイレンサーは内部がらせん構造になっており、小型ながらも高い消音性能を発揮します。

## 1-2 セット内容

ご購入後そのまま演奏できるフルセット【SNB-20】と、ハーモニカ本体が付属していないユーザーズセット（交換用セット）【SNB-20CVS】があります。

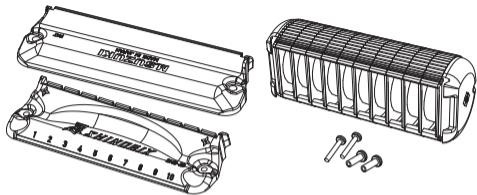
### SNB-20(フルセットC調)

サイレンサー  
ハーモニカ・C調  
セミハードケース



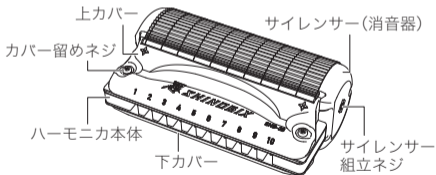
## SNB-20CVS(ユーザーズセット)

サイレンサー  
上下カバー  
カバー留めネジ×2セット  
セミハードケース



### 1-3 主な仕様・各部の名称

材 質:カバー・サイレンサー / ABS、  
ボディ / 天然木繊維入樹脂  
寸 法:100×62×42mm  
重 量:116g



## 1-4 音配列について

10ホールハーモニカの音配列は「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」の長音階からできています。そして1つ、とても大きな特徴があります。それは、第1オクターブ目が曲の中で多く使用される、IとVのコード(和音)を吹くことができる配列になっているということです。例えばC調の場合、第1オクターブ(1、2、3番穴)を一緒に吹くと「ドミソ=C」、吸うと「レソシ=G」の和音が出るようになっています。

### 【C調音配列】

吹 ↑	ド	ミ	ソ	ド	ミ	ソ	ド	ミ	ソ	ド
	C	E	G	C	E	G	C	E	G	C
C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
吸 ↓	D	G	B	D	F	A	B	D	F	A
	レ	ソ	シ	レ	ファ	ラ	シ	レ	ファ	ラ

10ホールハーモニカを大きな口でガバっとくわえて、適当に吹き吸いしてみましょう。それだけでなんとなく音楽になっているように聞こえませんか？それはこの配列のおかげなのです。和音を出すことができるかわりに第1オクターブ目には「ファ」と「ラ」がありません。しかし「バンド奏法」と呼ばれる10ホールハーモニカ独特の奏法を使うと「ファ」も「ラ」も出すことができます。



## 1-5 スズキ 10 ホールハーモニカ本体を使用することができます

忍SHINOBIXはフルセットでご使用いただくほか、カバーとサイレンサーをスズキ10ホールハーモニカの本体<sup>\*</sup>に取り付けてご使用いただくことが可能です。そのため、現在お使いいただいているお気に入りのモデルや、他調子のハーモニカでもサイレンサーをご使用いただけます。

※**本体が使用可能な機種**(2018年10月現在)

スズキ10ホールハーモニカ

MR-350/MR-350G/HA-20/MR-550/M-20/C-20/F-20/PH-20N

- ハーモニカ本体のみの販売はしていません。
- SNB-20(フルセットC調)に付属している本体はC-20と同様のものです。

### **フルセットSNB-20をご購入された方**

→ 「2. 本製品の使い方」(P.9)へ

### **フルセットSNB-20を購入し、他のハーモニカ本体を使用したい方**

→ 「3-1 サイレンサー (消音器)の着脱」(P.11) → 「3-3 ハーモニカカバーの着脱」(P.15)へ

### **ユーザーズセットSNB-20CVSをご購入された方**

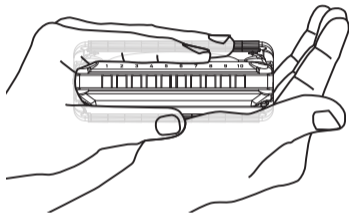
→ 「3-3 ハーモニカカバーの着脱」(P.15) → 「3-1 サイレンサー (消音器)の着脱」(P.11)へ

## 2. 本製品の使い方

### 2-1 演奏方法

右の図のように手に持ち、ハーモニカをくわえ、吹くまたは吸って演奏します。サイレンサーによる消音効果で、音量を抑えることができます。

- ❖ 楽器の特性上、通常の10ホールハーモニカと吹奏感が異なります。
- ❖ 上カバーを強く押さえると、サイレンサーが外れる場合があります。
- ❖ 本製品は完全に無音にするものではありません。演奏の際は近隣のご迷惑にならないようお気をつけください。



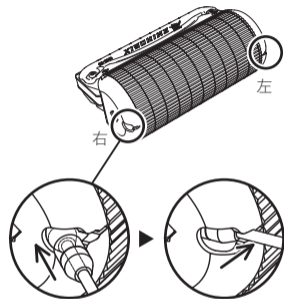
## 2-2 マイクを使用する

本製品はハーモニカマイクHMH-100（別売）を装着することが可能です。マイクで収録した音をヘッドホン等でモニターすることで、通常の演奏時と同じ音圧で音を聴くことができます。

①サイレンサー背面にマイク装着部があります（左右2カ所）。  
右図のように、どちらかの装着部からマイクをサイレンサー内部に差し込んでください。

②溝にコードを引っ掛けて固定してください。

- ❖ マイクを外す時は、取り付けと逆の手順で行ってください。
- ❖ 左側は低音、右側は高音を多く拾います。  
好みに左右のマイク装着部を使い分けてください。
- ❖ マイクを使用しない時は、マイクを外してください。



### **⚠️ コードを強く引っ張らないでください**

マイクを装着した状態でコードを強く引っ張らないでください。変形や破損、またコードが断線する恐れがあります。

## 3. お手入れの方法

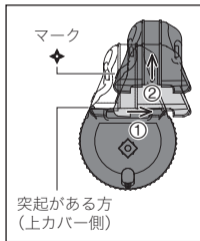
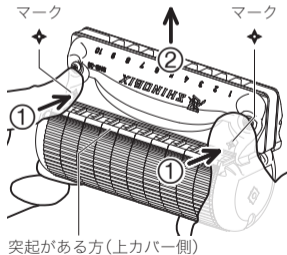
⚠ 作業は必ず机の上で行ってください。

### 3-1 サイレンサー（消音器）の着脱

クリーニング時やサイレンサーを他のハーモニカ本体に付け替える際には、サイレンサーを取り外してください。

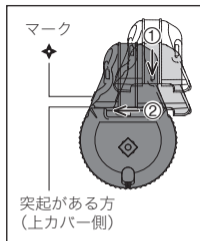
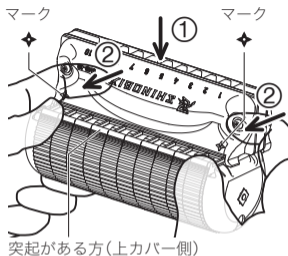
#### 取り外すとき

- ① 図のようにサイレンサーを持ち、上カバーにある2ヶ所のマークをゆっくりと押しながら、ハーモニカをスライドさせます。
- ② 半分程度ずらすと外れます。



## 装着するとき

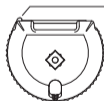
- ①ハーモニカをサイレンサーと半分程度ずらした位置に乗せます。
- ②下カバー(マークの裏辺り)をゆっくりと押しながら、ハーモニカをスライドさせます。止まるまで押ししてください。



## ⚠️ 正しい向きで取り付けてください

サイレンサーには向きがあります。向きが間違っていると取り付けられません。無理に取り付けると、故障・破損の原因になります。

### サイレンサー(消音器)



取り付け面  
突起がある方が上カバー側です

## 3-2 サイレンサー (消音器) のお手入れ

汚れがひどくなる前に、定期的に分解してクリーニングしましょう。

①サイレンサー(消音器)とハーモニカを外します。

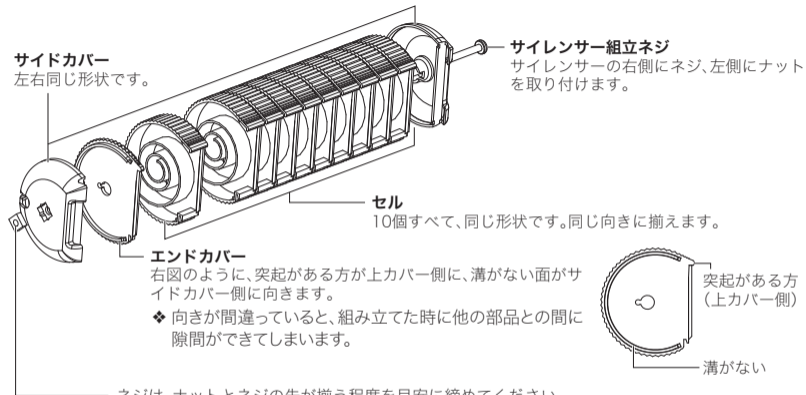
→「3-1 サイレンサー (消音器)の着脱」(P.11)をご覧ください。

②サイレンサー組立ネジを外し、分解します。(プラスドライバー No.2)  
部品がバラバラになりますので、なくさないように注意してください。

③部品を洗浄します。

樹脂製部分は水洗いできます。洗浄後は水分をよく拭き取ってください。

④部品の向きに注意して組み立ててください。



ネジは、ナットとネジの先が揃う程度を目安に締めてください。

- ❖ 強く締めると破損する可能性があります。
- ❖ 締め付けが弱いとサイレンサーがはずれやすくなります。
- ❖ 使用していると、少しずつネジがゆるむ可能性があります。

### 3-3 ハーモニカカバーの着脱

クリーニング時や楽器の調整、カバーを他のハーモニカに付け替える際にカバーを外します。

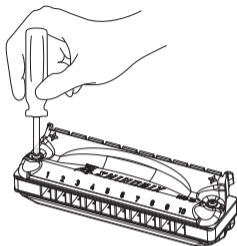
#### 外すとき

①サイレンサー(消音器)とハーモニカを外します。

→「3-1 サイレンサー(消音器)の着脱」(P.11)をご覧ください。

②カバー留めネジを緩め、カバーを外します。

(プラスドライバー No.1)



#### 付けるとき

ユーザーズセットSNB-20CVSをご購入された方、またはハーモニカ本体を交換する方は、まずお手持ちのハーモニカ\*のカバーを外してください。

※**本体が使用可能な機種**(2018年10月現在)

スズキ10ホールハーモニカ

MR-350/MR-350G/HA-20/MR-550/M-20/C-20/F-20/PH-20N

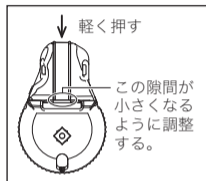
- ハーモニカ本体のみの販売はしていません。
- SNB-20(フルセットC調)に付属している本体はC-20と同様のものです。



①カバー留めネジを軽く締め、ハーモニカ本体にカバーを取り付けます。  
上カバーにはネジ、下カバーにはナットを入れます。

②ネジを締めこむ前に、サイレンサー(消音器)を装着します。  
→「3-1 サイレンサー(消音器)の着脱」(P.11)をご覧ください。

③右図のようにハーモニカ本体を軽く押し、サイレンサーと本体の間に大きな隙間ができないように調整してください。  
調整後、ネジを締めこみます。  
❖ 隙間があると消音効果が十分に得られません。



### **⚠ 記載の機種以外には使用しないでください**

記載の機種以外に使用すると、変形や破損する恐れがあります。また十分な消音効果が得られない場合があります。

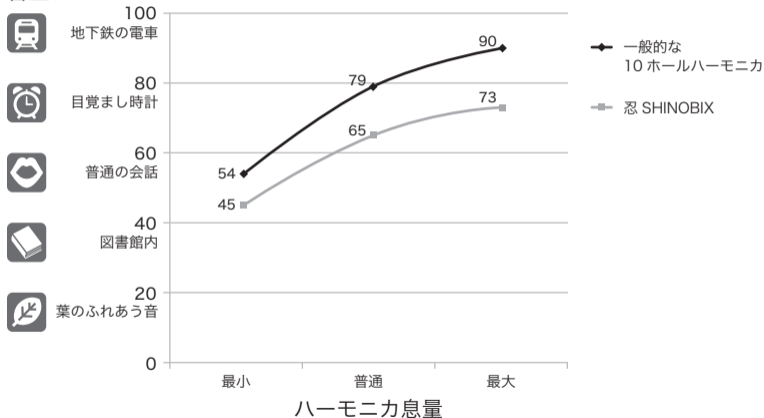
## 4. Q&A

### Q. 消音効果はどのくらいあるの？

A. 忍SHINOBIXサイレンサーは、強い息で演奏した際により大きな効果を発揮します。一般的な10ホールハーモニカの音圧を100%とした場合と比較し、約20%程度の音圧にまで軽減します。これはデシベル換算において、普通の息量の時80～90dBの音圧を60～70dBまで軽減しています。

- ❖ 騒音計から約50cmの距離にて測定(当社比較調査)。
- ❖ デシベル(dB)は音圧や音の強さを表す単位で、値が高いほど大きな音になります。
- ❖ 本製品は完全に無音にするものではありません。演奏の際は近隣のご迷惑にならないようお気をつけてください。

## 音圧レベル (dB)



## Q. ベンド奏法はできるの？

- A. ベンド奏法とは、10ホールハーモニカの配列に無い音を出すための上級テクニックです。忍SHINOBIXも通常の10ホールハーモニカと同様にベンドをすることができますが、開口部が少ないという特性上、吹奏感が若干異なります。

## Q. 着脱がかたくなった・ゆるくなった

- A. ハーモニカとサイレンサーの着脱がスムーズにいかない場合は、サイレンサー組立ネジの締め付けの強弱を調整すると改善されます。  
→「3-1 サイレンサー (消音器)の着脱」(P.11)をご覧ください。

その他ハーモニカに関するQ&AをスズキWEBサイトでもご紹介しています。  
ハーモニカのしくみや吹き方、練習につかえる無料の楽譜などの情報が満載です。

[www.suzuki-music.co.jp](http://www.suzuki-music.co.jp)

## Contents

<b>Ensuring the Safe Use of Your Harmonica ...</b>	<b>21</b>	<b>2. How to Play the Harmonica .....</b>	<b>27</b>
<b>1. Foreword .....</b>	<b>23</b>	2-1. Playing the Harmonica .....	27
1-1. Product Descriptions .....	23	2-2. Using a Microphone .....	28
1-2. Set Description .....	23	<b>3. Cleaning and Maintenance .....</b>	<b>29</b>
1-3. Main Specifications and Part Names ....	24	3-1. Attaching and Detaching the Silencer ...	29
1-4. Note Positions and Relationships .....	25	3-2. Cleaning the Silencer .....	31
1-5. Can Now Be Used with Suzuki 10-Hole Harmonicas.....	26	3-3. Attaching and Detaching the Harmonica Covers .....	33
		<b>4. Q&amp;A.....</b>	<b>35</b>

## SHINOBI Web Guide

Access the SHINOBI website with the use of the QR code. The site explains how to use your harmonica in an easy-to-understand video. We hope you'll find it useful.



# Ensuring the Safe Use of Your Harmonica



## PRECAUTIONS

Observe all of the following precautions to protect your harmonica from damage.

### **Before playing**

---

Wash your hands and rinse your mouth thoroughly. Also, play each note slowly and carefully to check that it is in tune. A tone that is badly out of tune may be a result of the reed being broken. Do not use the harmonica in this event.

### **Prevent foreign matter from entering the harmonica**

---

Do not allow foreign matter to enter the harmonica. Failure to observe this may result in damage.

### **Do not grip the cover too tightly.**

---

Do not grip the cover tightly or bite it. Failure to observe this may result in malformation or damage. There is also a chance that malformation may cause gaps into which the lips or tongue could get caught, resulting in unexpected injuries.

### **Do not blow too hard.**

---

Do not blow harder than when usually playing harmonicas. Failure to observe this may result in malformation or damage.

### **Do not throw or drop your harmonica.**

---

Failure to observe this may result in damage or injury.

### **Keep your harmonica away from heat.**

---

Do not leave your harmonica near heat sources, such as ovens, or exposed to intense sunlight. Failure to observe this may result in malformation or burns.

### **General care and maintenance**

---

After playing, tap out the harmonica in the palm of your hand, and then wipe it with a soft, lint-free cloth. For more thorough cleaning, wipe with a cloth dampened with HAC-01 (Suzuki Harmonica Sterilization Cleaner) or ethanol to disinfect it. Do not use any chemicals or solvents other than those listed here to clean your harmonica. Failure to observe this may result in damage. Place the harmonica in the case and store in it a safe location after cleaning.



## Precautions concerning reeds

### **Reeds are susceptible to breakage**

---

Harmonicas produce sound when the small internal metal plates, known as reeds, vibrate. There are cases in which frequent use or blowing strength may cause metal fatigue, resulting in the reeds becoming out of tune, cracking or breaking off. All reed instruments are susceptible to this phenomenon.

### **Sign of impending reed breakage**

---

If your harmonica becomes badly out of tune, it may be a sign of impending reed breakage. Do not play the harmonica in this event. Failure to observe this may result in a reed fragment entering the mouth or being inhaled.

### **Do not face upward when playing**

---

Do not face upward when playing the harmonica. If a reed breaks off, there is a chance that it may enter the mouth or be inhaled. If you inhale a reed, seek medical attention immediately.

### **Reeds are consumable items and therefore require regular maintenance.**

---

In the same way as the strings on string instruments break when used for long periods, harmonica reeds also become out of tune and break. The life expectancy of reeds depends on playing styles and frequency of use. You are recommended to contact Suzuki periodically and request maintenance in order to extend the life of your harmonica.

# 1. Foreword

## 1-1. Product Descriptions

SHINOBIX harmonicas consist of two parts; the harmonica and the silencer. They are easily fitted together. The inside of the silencer is spiral-shaped, and provides high levels of silencing performance despite its compact size.

## 1-2. Set Description

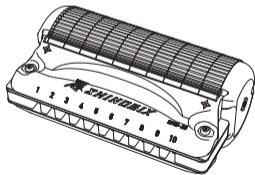
There are two sets available, the SNB-20 Full Set that can be played immediately after purchase, and the SNB-20CVS Users' Set that does not include the harmonica (part replacement set).

### SNB-20 (Full Set in the Key of C)

Silencer

Harmonica in the key of C

Semi-hard case





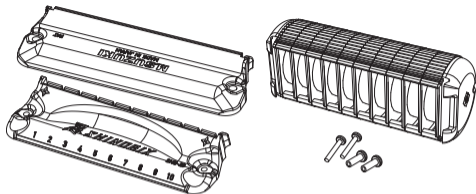
## SNB-20CVS (Users' Set)

Silencer

Upper and lower covers

2 sets of cover screws

Semi-hard case



### 1-3. Main Specifications and Part Names

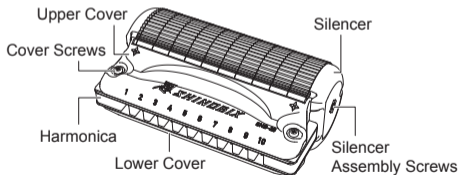
Material:

Cover and Silencer / ABS,  
Body / Resin Containing  
Natural Wood Fibers

Dimensions:

100mm × 62mm × 42mm

Weight: 116g



## 1-4. Note Positions and Relationships

The harmonica is played by blowing and drawing your breath at the various tone holes. The following chart shows the positions of the notes on a basic 10-hole diatonic harmonica in the key of "C". You will also notice that as well as playing single notes, it is possible to blow or draw multiple notes (chords). For example, if you blow tone holes 1, 2, 3, (#4 is optional), the notes played would be C, E, G (C), or a "C" major chord. Using the blow and draw method at the various positions makes rock, blues and other chord patterns easy to play and lots of fun!

[Range: Key of C]

Blow	↑	C	E	G	C	E	G	C	E	G	C
	C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Draw	↓	D	G	B	D	F	A	B	D	F	A

## 1-5. Can Now Be Used with Suzuki 10-Hole Harmonicas

In addition to using the SHINOBI with the Full Set, it is also possible to use the covers and silencer with Suzuki 10-hole harmonicas\*. This enables the silencer to be used with the favorite models in your possession and harmonicas in different keys.

\* **Compatible Models** (As of October 2018)

Suzuki 10-Hole Harmonicas

MR-350/MR-350G/HA-20/MR-550/M-20/C-20/F-20/PH-20N

- The comb and reed plates are not sold individually.
- The harmonica included in the SNB-20 (Full Set in the Key of C) is the same as the C-20.

### Owners of the SNB-20 Full Set

→ See “2. How to Play the Harmonica” (P. 27).

### Owners of the SNB-20 Full Set Who Wish to Use it with Other Harmonicas

→ See “3-1. Attaching and Detaching the Silencer” (P. 29) → “3-3. Attaching and Detaching the Harmonica Covers” (P. 33).

### Owners of the SNB-20VCS Users' Set

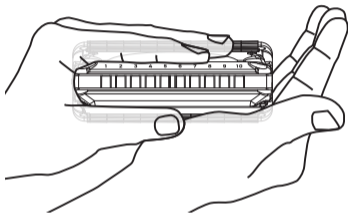
→ See “3-3. Attaching and Detaching the Harmonica Covers” (P. 33) → “3-1. Attaching and Detaching the Silencer” (P. 29).

## 2. How to Play the Harmonica

### 2-1. Playing the Harmonica

Grip the harmonica as shown in the illustration on the right, place the harmonica to your lips and either blow or suck. The silencing effects of the silencer will reduce the volume of the sound.

- ❖ The sensation when playing will be different to normal 10-hole harmonicas owing to the characteristics of the instrument.
- ❖ The silencer may become detached if you grip the upper cover too hard.
- ❖ The silencer does not completely mute the sound. Avoid playing the instrument in a manner that may inconvenience people in the vicinity.



## 2-2. Using a Microphone

The HMH-100 harmonica microphone (sold separately) can be attached to the product. Monitoring the tunes recorded with the microphone on headphones, etc., allows you to listen to the music at the same acoustic level as when you are actually playing.

① There are clips for attaching the microphone on the rear of the silencer (two locations on the left and right). Attach the microphone to either of these as shown in the illustration on the right, and then tuck the microphone inside the silencer.

② Run the cord along the groove and fix it in place.

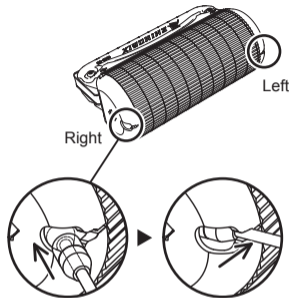
❖ Follow the instructions for attaching the microphone in reverse to remove it.

❖ It will pick up the low tones when located on the left, and the high tones when located on the right. Decide on the location for setting the microphone either on the left or right in accordance with your own preferences.

❖ Remove the microphone when not using it.

**⚠ Do not use excessive strength to pull the cord**

Do not pull the cord when the microphone is set in position. Failure to observe this may result in malformation, damage or the cord being severed.



## 3. Cleaning and Maintenance

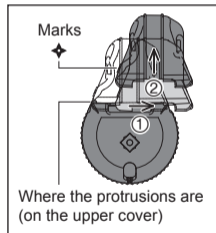
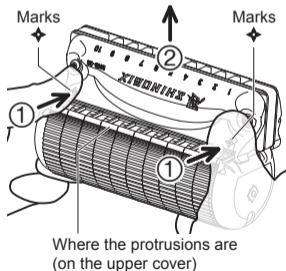
**!** Perform the following tasks over a table or desktop without fail.

### 3-1. Attaching and Detaching the Silencer

The silencer must be removed for cleaning purposes and when attaching it onto a different harmonica.

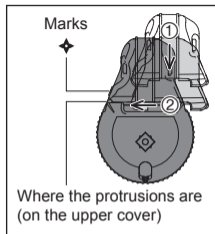
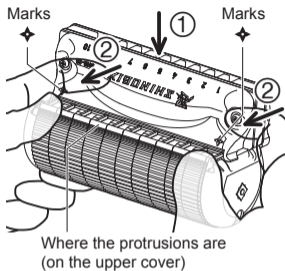
#### Detaching the Silencer

- ① Grip the silencer as shown in the illustration, slowly press down on the two marks on the upper cover, and then slide the harmonica out.
- ② The silencer can be removed once it has been slid approximately half way.



## Attaching the Silencer

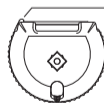
- ① Place the harmonica approximately half way along the silencer.
- ② Slide the harmonica while slowly pushing the lower cover. Continue pushing until it will go no further.



### **Make Sure the Silencer is Attached Facing in the Correct Direction**

The silencer has a correct and incorrect direction. If you chose the wrong direction, you will not be able to attach it. If you apply force in this event, it may result in breakage or other damage.

#### Silencer



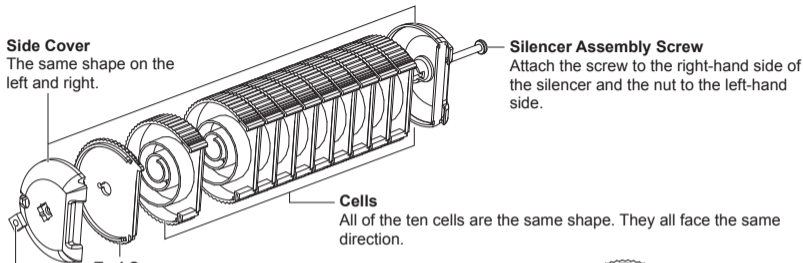
Attachment side  
The cover with the protrusions is the upper cover.

## 3-2. Cleaning the Silencer

You are advised to periodically dismantle and clean the silencer before it gets too dirty.

- ① Detach the silencer from the harmonica.
  - ➔ See “3-1. Attaching and Detaching the Silencer” (P. 29)
- ② Remove the silencer assembly screw and dismantle it. (Use a Phillips No.2 screwdriver)  
Make sure you do not lose the various components.
- ③ Clean each component.  
Rinse the resin components in water. Thoroughly wipe off all moisture after cleaning.
- ④ Reassemble the parts while paying attention to their orientation.

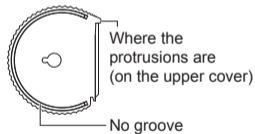




**End Cover**

As shown in the illustration on the right, the side with the protrusion fits onto the upper cover, and the side without a groove faces the side cover.

- ❖ If the orientation is wrong, a gap will appear between the cover and the other parts during reassembly.



Tighten the screw to a level where its tip is approximately level with the nut.

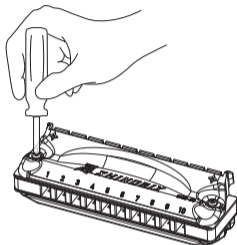
- ❖ Tightening the screw excessively may result in damage.
- ❖ Insufficient tightening will result in the silencer becoming easily detached.
- ❖ The screw may loose little by little while being used.

### 3-3. Attaching and Detaching the Harmonica Covers

Detach the covers when cleaning or adjusting the instrument, and when attaching the covers to another harmonica.

#### Detaching

- ① Detach the silencer from the harmonica.  
→ See “3-1. Attaching and Detaching the Silencer” (P. 29)
- ② Loosen the cover screw and remove it.  
(Use a Phillips No.1 screwdriver)



#### Attaching

**If you are the owner of a SNB-20CVS Users' Set or wish to replace the harmonica, first of remove the covers from your harmonica\*.**

\* **Compatible Models** (As of October 2018)

Suzuki 10-Hole Harmonicas

MR-350/MR-350G/HA-20/MR-550/M-20/C-20/F-20/PH-20N

- The harmonicas are not sold individually.
- The harmonica included in the SNB-20 (Full Set in the Key of C) is the same as the C-20.

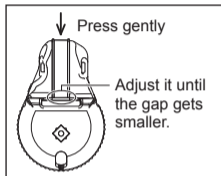
① Slightly tighten the cover screws and attach the covers onto the harmonica.  
The screw goes on the upper cover and the nut on the lower cover.

② Attach the silencer before tightening the screw.

→ See “3-1. Attaching and Detaching the Silencer” (P. 29)

③ Gently press the harmonica as shown in the illustration on the right, and adjust it to ensure that a large gap does not appear between the silencer and the harmonica. Tighten the screws after adjusting it.

❖ The silencing effect will not function properly if a gap exists.



**⚠ Do not use on any models other than those listed above.**

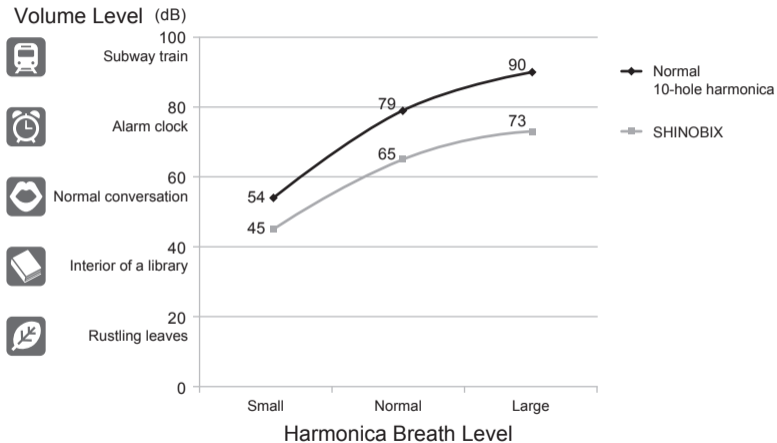
Failure to observe this may result in malformation or damage. The silencing effect may also not function properly.

## 4. Q&A

### Q: What level of silencing can be expected?

**A:** The harder the harmonica is blown, the larger the silencing effect of the SHINOBIX silencer. When compared to the normal volume of a 10-hole harmonica calculated at 100%, the volume will be reduced by approximately 20%. When calculated into decibels, the normal volume of between 80dB and 90dB when the harmonica is played normally will be reduced to between 60dB and 70dB.

- ❖ Measured at a distance of approximately 50cm from the gauge (comparison survey carried out in-house).
- ❖ Decibels (dB) are the unit used to express volume and the strength of sound, and the higher the value, the louder the sound.
- ❖ The silencer does not completely mute the sound. It is therefore necessary to make sure that playing the harmonica does not inconvenience anybody in the vicinity.



**Q: Is it possible to bend notes?**

**A:** Note bending is a skillful technique for producing sounds that do not exist on a 10-hole harmonica layout. Although it is possible to bend notes with the SHINOBIX in the same way as with other 10-hole harmonicas, the end result may be slightly different owing to it structurally having less openings.

**Q: The silencer is too tight (too loose) when attached**

**A:** If you have difficulty attaching and detaching the silencer smoothly, either loosen or tighten the silencer assembly screws to adjust and improve it.

→ See “3-1. Attaching and Detaching the Silencer” (P. 29)



**株式会社 鈴木楽器製作所**

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家 2-25-12

TEL (053) 461-2325

**SUZUKI MUSICAL INST. MFG. CO., LTD.**

2-25-12 Ryoke Naka-Ku Hamamatsu Japan

[www.suzuki-music.co.jp](http://www.suzuki-music.co.jp)

8109-5B-MAS-MM-255-A

00457-10108